

令和7年度 吉川市立中曽根小学校学校経営方針

1 学校教育目標

なかよく かしこく ねばりつよく

2 目指す学校像

一人一人を大切に、3つの力を伸ばす学校 「学校が楽しい」の実現

3 目指す教師像

- 教師としての使命感をもち、責任を果たす教師（範を示す）
- 楽しさを実現するために研鑽する教師
- 心身共に健康な教師

4 学校経営方針

- 全教職員の参画による、特色ある教育活動を展開する。
- 安全で安心できる学校づくりを推進する。
- 学びの連続性を重視し、小中一貫教育の推進と保幼小連携を推進する。
- 組織を生かし、学校の教育力を高める。

経営理念

子供も大人も、**想像力**をもとう、**想像力**を働かせよう

想像力とは、知識や経験に基づいて、目に見えないものを心の目で見て物事を推しはかろうとする態度や能力である。

想像力とは、①先を見通し、望ましい判断をする力 ⇒ **説明責任が果たせるか**

- ・選択、判断する機会を与える。
- ・主体的に考えたり、動いたりする機会を与える。

②人の気持ちや立場を理解する力 ⇒ **その指導（言動など）は適切か**

- ・人と人が関わる機会を与える。
- ・多様性を認め合う。

5 指導の重点

- 探究型学習（PBL） ⇒各学年発達段階に応じた取組を計画・実践
- デジタルシチズンシップ教育 ⇒各教員から児童へ指導の徹底
- 吉川市教育委員会委嘱 小中一貫教育 ⇒全教職員の共通理解・共通行動
本年度の発表で集大成となるように

具体策と本年度の重点・努力点

1 確かな学力の育成（基礎学力の定着）

（1）学習に必要な教材・教具をそろえる。→各教科等主任
各学年主任

（2）学習ルールを徹底する。→姿勢の保持

【スタディ10の徹底】 机上の整理

学習用具の精選

活動の切り替え（見る・聴く・話す・読む・書く）

板書、ノート作り

（3）効果的なタブレットの活用。→活用の目的と場面

（4）テンポの良い授業をする。→一連の流れ

「課題提示・発問・一人学び、対話交流・発表・振り返り」

余計な説明を削減 ルーティーン、パターン化

（5）教師が授業でしゃべりすぎない。→考えさせる＝待つ

気づかせる

引き出す

発言させる＝自信をもたせる＝安心させる

2 豊かな心の育成

（1）教育環境の整備。→言語環境（あいさつ・返事・言葉遣い）を整える

清掃や整頓を徹底し、清潔で明るい環境

掲示環境を工夫し、意欲付けや啓発を行う

（2）規範意識や人権意識の向上。→児童が活躍する行事や活動を積極的に行い、

自発性と協働性を養う

行事や活動の計画的な運営

道徳の指導力向上を図る（研修の実施）

タイムリーな道徳授業による日常への応用

・学校生活、家庭生活、放課後のトラブル改善

いじめや差別を許さない学年・学級経営

いじめや不登校に対し、すばやく丁寧な初期対応

（3）地域に開かれた特色ある教育活動の推進。→学校運営協議会の効果的な運用

学校だより、HP、学校公開、行事、地域人材の積極的な活用

3 安心・安全の確保

(1) 体力向上と健康増進。→運動の機会と時間を十分に確保する。

運動の楽しさや学習の成果を実感できる授業づくり

- ・スモールステップでこの伸びを見える化
- ・無理をさせて、無謀をさせない目標設定

(2) 学校内外の安全・安心。→日常的に安全に対する意識を高める

登下校・自転車・地震・浸水・遊具・SNS・金銭

年間指導計画に基づき、効果的な安全学習を実施

関係機関との連携 ・防災、避難訓練、交通安全教室

(3) 命の大切さと心身の安全・安心。→いじめや差別を許さない学年・学級経営

いじめや不登校に対し、すばやく丁寧な

初期対応（再掲）

(4) 教職員の資質向上。→児童の3年後、5年後、義務教育終了後を見据え、「自立」

を念頭に指導・支援をする。

教職員事故を絶対に起こさない。倫理確立委員会の実施方法の工夫 管理職から啓発・注意喚起

多様性を受け止め、柔軟に対応する。特別支援教育の視点をもった支援（ユニバーサルデザイン）合理的配慮は義務教職員が心身の健康を保持することにより、教育効果として児童に還元されるよう働き方改革を推進する。

（ノー残業デー、ふれあいデー、研修や打ち合わせの工夫）

こんな職員・職員室にしましょう！

☆お互いさまの気持ちで

体調が悪くなることは誰でもあります。また、ご家庭の都合、お子さんの学校行事などお休みをすることもあります。お互いさまの気持ちで、自習に入るなど協力し合える職員集団になりましょう。

☆和やかさと活気あふれる職員室

（社会人としてコミュニケーション・マナー（服装・履物・電話対応・来客対応・言葉遣い）

☆情報が共有され、報告・連絡・相談＋見届け（確認）まで行える職員室

（スピード感、先延ばししない、悪い情報ほど早く）

☆子供の話題（よさや頑張り）にあふれる職員室

☆学習指導や生徒指導などについて、気軽に相談できる職員室

☆一人一人が組織に貢献し、支え合い、協働できる職員室